

# 第1回 かいごの学校

## テーマ「<sup>ぜいたく</sup>介護福祉ほど贅沢な仕事は、ない!」はぴっ。

皆さま、こんにちは。介護従事者のための公開講座「かいごの学校」のご案内です。

はじめに今年1月1日に、北陸地方を中心におきた能登半島地震において、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

この地震の影響で今もなおご不便な生活を余儀なくされている方々がおられます。

その方々の中には、生活を送る上で、私たち介護福祉実践者のチカラを必要としている人も少なくありません。また、私たち介護福祉実践者は、さまざまな形で被災者を想い、微力ながらも自分たちのできる精一杯の支援を行っている状況です。

このような状況の中で「かいごの学校」を開催する理由、それは、「この研修会が受講者に対し『学び』、『気づき』だけでなく、介護福祉実践者への『エール』になる。そして、同じ仕事をしている同士がその場で交流をすることで、『喜び』や『悩み』が共有できる。」と確信しているからです。

「かいごの学校」は、受講生自らが受けたい授業を選ぶことができるのが特徴です。

授業科目はチラシの2枚目に掲載している【時間割表】でご確認ください。介護人材の不足や感染症対策などで、心身ともに疲れ気味の私たちが、「この仕事のすばらしさを再認識できる授業」、「社会から必要とされている仕事であると感じられる授業」をご用意しました。また、時間割表だけではどのような授業なのか伝わらないこともあると思いますのでこのパンフレットを作成しました。ぜひ隅々までご覧ください。きっとどの授業を選択しようか悩んでしまうことでしょう。また放課後活動として「後夜祭」を行います。この日、介護福祉実践をしている者同士との交流も、明日の糧となるよう準備しています。

お申し込みは、このパンフレットの最後のページにあるQRコードまたはFAXにていただきますよう宜しくお願い致します。

令和6年7月28日が皆様にとって【最幸の日】となりますよう準備させていただきます。

令和6年4月吉日

かいごの学校実行委員一同

「かいごの学校」を応援して下さる皆様(ご後援をいただいた団体の皆様)

福井県、敦賀市、福井県社会福祉協議会、敦賀市社会福祉協議会、福井県老人福祉施設協議会  
福井県グループホーム連絡協議会、日本介護福祉士養成施設協会服県ブロック  
福井県介護福祉士会、福井県精神保健福祉士会、福井県理学療法士会、  
福井県作業療法士会、福井県言語聴覚士会、介護労働安定センター福井市部

## 【当日の時間割】

7月28日(日)

1時間目 10:00～11:00 (60分) 先着150名	<b>授業番号①</b> 気づくか、気づかないか！ 贅沢な仕事にするか、しないか！ 【講師】 佐々木炎		
11:00～11:10	休み時間*教室移動		
2時間目 11:10～12:10 (60分) 各授業先着順	<b>授業番号②</b> 【講義テーマ】 うらやましい！ PTとNSから介護への エール！ 【講師】 吉本與史一・加藤瑞穂	<b>授業番号③</b> 【講義テーマ】 見える！わかる！ 観察の視点 【講師】 篠崎良勝(静岡県)	<b>授業番号④</b> 【講義テーマ】 食わず嫌いの君へ！ 情報テクノロジーの い・ろ・は 【講師】 舟田伸司(富山県)
昼休み 12:10～13:10 (60分)	給食の時間(別途500円で弁当注文、近くのコンビニまで徒歩8分)		
3時間目 13:10～14:20 (70分) 先着150名	<b>授業番号⑤(石川県)</b> 1.5次避難所の運営から見た介護福祉士の専門性 【講師】 石原俊彦・泉幸恵・大倉清美		
14:20～14:30	休み時間*教室移動		
4時間目 14:30～15:30 (60分) 各授業先着順	<b>授業番号⑥</b> 【講義テーマ】 転職者は語る！ 前職と比べたら〇〇だった 【講師】 伊藤泰之・山口孝俊・ 大久保健	<b>授業番号⑦</b> 【講義テーマ】 47年のキャリアから次世 代へつなぐ介護のバトン 【講師】 山内富美枝・森田のり子 ・岩崎静恵	<b>授業番号⑧</b> 【講義テーマ】 の～びのび 介護技術講座 【講師】 舟田伸司(富山県)
15:30～15:40	休み時間*教室移動		
5時間目 15:40～16:30 (50分) 先着150名	<b>授業番号⑨</b> プランニングでつながる介護福祉とプロレスの意外な共通点 介護×プロレス 【講師】 澤邊浩隆・水本光彦・篠崎智江・高島聡(滋賀県)・松永将孝(滋賀県)		
放課後活動 17:00～18:30 (90分)	<b>後夜祭</b> 後夜祭という交流会(別途4,000円の参加費)		

\* 授業番号①以外の講義料は、出口にある箱に100円以上の投げ銭をお願いします。  
投げ銭が講師の授業料になります。

# 授業番号①(全員出席可能です)

## 演題

気づくか、気づかないか！  
ぜいたく 沢  
**贅** 沢  
な仕事にするか、  
しないか！



【受講者の皆さんへ】

「私、松ヶ平が佐々木先生の講座を皆さんに推す理由、

佐々木先生のつかう言葉は、わかりやすい。その言葉の後ろには、佐々木先生の「人を信じる心」を感じるから、心の中にしみこんでいく。その「信じる力」は、佐々木先生ご自身の経験に裏打ちされ生み出されたもの。社会への、自分自身への絶望と居場所のなさの経験があったからこそ、出てくる言葉であり、人の心の間も知っている人の言葉でもある。

牧師としてのお仕事も、介護福祉のお仕事も「人のそばにすること」として全く矛盾がない。

**介護福祉**、というより**介護福祉**というウエイトである。佐々木先生の生き方そのもののお話が聞けることと思う。キリスト教というと、浄土真宗王国の福井と相容れないように思うかもしれないが、大丈夫！その言葉の中から、介護福祉の本質に気づけると、この仕事は「ぜいたくだ」と思えること間違いなし！

佐々木先生のお話は、何度聞いても「あっ！」と思うことがある。福井県内で、先生の講義を聞いている回数が多い人、と問われたら、私は自信を持って「はい！」と手を上げる。ファーストステップ研修が始まって10年、ずっと聞いていた（事務局の特権！）。その他、認知症や看取りの研修にも来ていただいている。何度聞いても「発見」のあるお話なので、お見逃しなく！

文責 松ヶ平 朝菜

## 講師プロフィール

佐々木 炎（ささき ほのお）「ホッとスペース中原」代表。

1965年静岡県生まれ。青春時代は不良少年として過ごした。聖隷学園福祉医療ヘルパー学園卒、聖契神学校卒、日本社会事業学校専修科卒後。特別養護老人ホーム職員、プライベート介護に携わった後、1998年、教会開拓と同時に教会堂で宗教法人格の「ホッとスペース中原」を始める。2009年4月よりNPO法人に変更し、理事長に就任。現在、主任介護支援専門員やサービス管理責任者として現場に携わりながら、東京基督教大学・上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座・読売理工医療福祉専門学校・品川介護福祉専門学校で講師を務める。社会福祉法人愛隣会、牧師。



授業番号②（選択した人のみ出席可能です）

# 理学療法士 看護師から介護福祉士へのエール!



【受講者の皆さんへ】

みなさんこんにちは。この授業では私たち（看護師、理学療法士）からみた介護福祉士の魅力をお伝えします。

皆さんの事業所には様々な職種の方が働いていると思います。看護師、理学療法士、社会福祉士（相談員）などなど。いろんな職種で目の前の方の生活を支えています。

みなさんが思っている以上に私たち（看護師、理学療法士）は介護福祉士のすばらしさに感動し、感謝しています。そんな思いがあるからこそ、皆さんに聞きたいこともたくさんあります。聞きたいことが多すぎて、時には怖いと感じる事もあるかもしれませんね。

みなさんが当たり前に行っているご利用者とのかかわり、介護実践、観察など、言葉では言えない感性も私たちには大きな財産になっています。

私たちの話を聞いて、「俺ってすごいことしてるんや。」「私の仕事ってこんな奥が深かったんや。」と感じていただけたらと思います。明日から胸を張って、笑顔で、目の前の利用者と関わりましょう。周りの仲間と話をしましょう。

さあ、自分たち（介護福祉士）の魅力を見つける授業がはじまります！

## 講師プロフィール



加藤 瑞穂（かとう みずほ）

福井大学医学部看護学科卒業後、同大学病院に勤務。その後仲間と共に訪問看護ステーションを設立。訪問看護師として暮らしのなかでの幅広い在宅ケア・看取りをするなかで、『その人らしく最期まで生ききるを支えたい』と思い、地域に身近にいるコミュニティナースとしても活動中。2024年2月には暮らしの看護最大化を目指す株式会社オリーナスを設立。



吉本 與史一（よしもと よしかず）

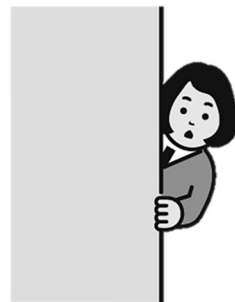
福井県敦賀市在住の理学療法士。23年前、病院～老健の経験を経て、寝たきり高齢者のリハビリを追究すべく介護分野へ転向。そこで多職種協働の重要性、特に介護職の職能と感性に触れリハビリテーション介護の可能性を見出した。現在は、「介護職だからこそできるリハビリ」をテーマに、介護・介護予防分野で活動中。MADE IN JAPANの介護を韓国にも展開している。

# 授業番号③（選択した人のみ出席可能です）

見える！わかる！



## 観察の視点



【受講者の皆さんへ】

こんにちは！篠崎良勝です。この度は、「観察」の世界へようこそ！

私の担当するこの授業は、「観察」の奥深い領域の冒険の入り口になります。13年以上もの間、私は介護福祉実践者の「観察」に関する研究に没頭してきました。「観察」は介護福祉の心臓部とも言えます。また、「観察はどこで学ぶの？」とよく聞かれますが、テキストで触れられる「ポイント」や「例えば」では、単なる表面的な知識に過ぎず、本当の「観察」の理解には至りません。



今回、お伝えする本質的な「観察」の理論、それが **PEIP** (ペイプ) です。「難しそう」と思われた方もいるかもしれませんが、安心してください。今回の講座では、皆さんが日々の介護福祉実践で直面する「介護過程」に活かせる形で、分かりやすくお伝えします。何よりも、「観察」は、「人が人と関わり合う中で、私たちは相手をどう理解するか」という点で、大切かつシンプルな領域です。

「観察」を通じて、人との深い関わり方を学び、福祉の現場で真に役立つ知識とスキルを身につけましょう。この理論を学ぶことで、皆さんの介護実践がより豊かなものになること間違いなしです！

当日は、楽しく、わかりやすく、皆さんにこの「観察」の世界をお伝えします。少しでも興味を持っていただけたら、とても嬉しいです。ぜひこの機会に、「観察」の新たな扉を開き、皆さんが介護福祉の世界でさらに輝けるよう一緒に学んでいきましょう。

### 講師プロフィール

篠崎 良勝（しのざき よしかつ）

1969年10月23日生まれの54歳。茨城県出身。妻は福井県出身で福井市在住の介護福祉士（職業はケアマネ）です。25年間、介護福祉実践者の専門性を丁寧に“見える化”する研究を続けています。その一つが「観察」です。現在は、静岡県浜松市にある聖隷クリストファー大学社会福祉学部で介護福祉士の養成に関わっています。好きな食べ物は「あずき」、嫌いな食べ物は「いなご」などの昆虫系。月刊誌「かいごの学校」（現在、休刊中）の初代編集長。



当日はいつも以上に  
モジャモジャにさせていただきます！！

# 授業番号④（選択した人のみ出席可能です）

食わず嫌いの君へ

## 情報テクノロジーの いろいろ

### 【受講者の皆さんへ】

「かいごの学校」にご参加されている皆さま、こんにちは。富山県介護福祉士会会長を務めさせていただいている舟田です。どうかよろしくお願いたします。

本日、私が受け持つ講座は2つあります！午前の授業では、この『介護テクノロジーのいろいろ』になります。昔も今も、これからも進化し続ける『多様性の怪物』である介護というお仕事。

この時間は、生産性向上（介護の価値を高める）の重要な一角でもある、介護現場における介護ロボットやICT活用に対して、現場の皆さんと一緒に思いを巡らし、未来を創造したいと思います。期待や諦め、興味や不安をひっくるめて、介護現場における介護のためのディスカッションを、事例を踏まえて展開します。介護福祉の現場で介護ロボットやICTを活用することが、どれほど利用者の可能性を見出し、同時に、私達の介護に革命をもたらす可能性を広げるか？私たち自身で考察してみませんか？

この研修では、私たちを取り巻く介護ロボット、ICTを利用した介護サービスの基本から日常業務の効率化（3M・5S）についてや、利用者の尊厳を守ることの重要性等もわかりやすく解説します。介護のことは介護が決める！私たち介護の自己効力感を共に高めてみませんか？

### 講師プロフィール

舟田 伸司（ふなだ しんじ）

1970年生まれ、富山県黒部市出身。1990年黒部市介護老人保健施設カリエール開設と同時に入職。介護係長として勤務しながら県内外各所で介護講習、講演等も行っている。「介護の現場は宝の山。自己満足では終わらせずに介護の楽しさを伝えたい」という34年間抱き続けた介護への熱い思いと「思考する」介護を信条に活動中。日本介護福祉士会常任理事・富山県介護福祉士会会長。介護福祉士、介護支援専門員、介護技術講習主任指導者、保育士、幼稚園教員2級など当該領域の資格多数。1番好きな食べ物は「妻の手料理」、1番苦手な食べ物は、「生臭いもの」です。





## 授業番号⑤(全員出席可能です)

# 1.5 次避難所から見た介護福祉士の専門性

### 【受講者の皆さんへ】

1月1日、緊急地震速報からすぐ、地面の底から突き上げるような揺れに襲われました。

「え？能登かも…」この日から、私たちの終わりのない「苦悩」が始まりました。

当初、石川県総合スポーツセンター メインホール（よく報道された緑のテントがずらっと並んでいるところ）での高齢者の見守りを石川県から依頼されたのですが…。活動前日の9日になって、「マルチホールに、能登の高齢者施設から安全なところに避難するための要介護エリアを作るのでそのケアを担って欲しい」という依頼に変わり…。とにかく、パジャマやら着替えやら、使いかけの紙おむつやら、必要だと思われるものを持って、現地に行きました。

怒涛の日々の始まりでした。持てるすべての「知識」「技術」「アセスメント能力」「コミュニケーション能力」そして、「体力と気力」をすべて出し切るという、生まれて初めての経験をしました。私たちには、勤務先があり仕事があります。仕事の後で、スポセンで夜勤をする会員もいました。もちろん翌日は仕事です。

災害時、「何が起こって、どのような苦悩が待っているのか」それを知ってほしいと思います。そして、その中で「介護福祉士ってすごいな！」とたくさんの場面で思いました。それも知ってほしいです。そして、究極の状況の中で私たちが考えた「介護福祉士の専門性」、これは、いまだ確たる答えが出ていませんが、（←ここが 終わりのない苦悩）一緒に考えることができたらと思います。

### 講師陣プロフィール

いしはら としひこ  
石原 俊彦



私は看護学校入学を機に、山梨県より石川県に居を移し、老健にて約23年間、相談室室長や看護・介護部長を勤める。今回の災害では、石川県介護福祉士会災害対策委員長として災害支援を担っている。

いずみ ゆきえ  
泉 幸恵



2004年から介護職デビュー。特養・デイ・施設ケアマネを経て現在居宅ケアマネ。「福祉の仕事は介護が基盤」の信念を持ち、現在、石川県介士会の金沢ブロック長。1.5次避難所立上げ、コアメンバー3名のうちの1人。

おおくら きよみ  
大倉 清美



介護の道を自ら選び、今に至る。親の介護・老健での認知症介護・地域包括を経て、現在は居宅の管理者として勤務。講師歴10年以上でファーストステップ研修等、熱い仲間と構築中。泉さんとは、腐れ縁、そして戦友となる。



# 授業番号⑥（選択した人のみ出席可能です）

## 転職者は語る！ 前職と比べたら だった

【受講者の皆さんへ】

それぞれの経験が輝く、個性豊かな介護の世界へようこそ！

皆さんの事業所でも「人が足りない。」「やめていく人が多い。」「これからどうしよう。」など様々な「人」に関する悩みを抱えている方も少なくないと思います。しかし、そんな状況下でも、介護の世界に飛び込む人たちがいます。

そして、皆さんの周りにも、転職して介護の仕事に就いている人がいるのではないのでしょうか？それぞれが異なる経験や考えを持ち、介護という仕事を選んでいきます。

今回の授業では、転職して介護の道を歩んでいる3人のリアルな声をお届けします。前職での経験を交え、「その経験があるからこそこの今がある！」と思えるような、転職してきたからこそ介護の専門性。十人十色の介護の専門性について語り合います。

そして、参加者の皆さんからも意見を聞きたいと思います。

「転職して介護の道を歩んでいる方」、「介護一筋でキャリアを築いてきた方」、それぞれの視点から意見を交換し、一緒に介護の未来について考えていきましょう。介護は決して画一的な仕事ではありません。あなたの個性や経験が、誰かの役に立つ可能性があります。

さあ、あなたも一緒に、介護の可能性を探ってみませんか？

### 講師陣プロフィール

やまぐち たかとし  
山口 孝俊



**前職:警察官**  
**現職:小多機**

4年間警察官として勤務し、福祉の世界へ。新潟県出身。福井県介護福祉士会会員（理事）。  
介護福祉士／介護支援専門員

おおくぼ たけし  
大久保 健



**前職:旅行会社**  
**現職:デイサービス**

旅行会社へ入職し、退職後は社会福祉協議会へ入職。夢は旅行介助士としてあらゆる人の旅行や外出機会をつくること。埼玉県出身。  
介護福祉士／社会福祉士／旅行介助士

いとう やすゆき  
伊藤 泰之



**前職:ホテルマン**  
**現職:障がい者支援**

両親の経営するホテルで働き、障がい者福祉の世界へ  
利用者と楽しく生活することを大切に日々奮闘中。介護福祉士。



# 授業番号⑦（選択した人のみ出席可能です）

40年のキャリアから次世代へ繋ぐ介護のバトン

## 君たちは介護とどう向き合うか

### 【受講者の皆さんへ】

皆様、こんにちは。私たち3人で担当させていただく授業は、40年のキャリアからみえた「介護福祉の根っこ」です。私たちは3人合わせる「210歳」を超えます。そんな私たちがこのような講義を担当することは、ある意味チャレンジです。なぜならパソコン・スマホ等がとても苦手なからです（笑）

昭和・平成・令和と時代が流れ、介護福祉を取り巻く環境も大きく変化をしてきました。流れていく時間の中で、私たちが介護にかかわってきた中で「**かわらないモノ**」があることに気づいたのです。それを今日皆さんと共有できたらと思います。

「人間関係に疲れた」「人がいないのにあれもこれもって」「利用者の方との向き合い方が難しい」と悩んでいる、「**あなた**」一緒にお話ししませんか？私たちの介護の仕事は「**人のために何かをすることの幸せを感じることのできる仕事です。**」この言葉が、今のあなたに響くかはわかりませんが、時代は変われど、介護とは「人を相手にする」ということでは変わらない生業です。

私たちとディスカッションしてもらえたら嬉しいです。受講者の皆さんの一言を楽しみにしています。そして介護福祉の世界で一緒に歩んでもらえるようにお伝えしていきます。

### 講師プロフィール

いわさき しずえ  
岩崎 静恵



「介護」、「福祉」…。私には「何も分からない世界」でした。『続けられるかな』と毎日が不安でした。それがいつの間にか46年、振り返ると色々な出来事がありました。続けてこられたのは、仲間がいたことと、「ありがとのお」「おおきに」「また来てや」の言葉でした。

もりた こ  
森田 のり子



昭和57年老人家庭奉仕員として、この道に入りました。老人家庭奉仕員？と思われる方も多いのではないのでしょうか。笑時代は流れ、介護福祉士という資格が与えられ、高度なスキルと責任が課せられました。10人ほどの仲間が集まり自主研鑽の場所として介護福祉士会を立ち上げました。技術や知識はもちろんのこと、仕事の悩み、疑問など話せる仲間ができた私の財産になりました。

やまうち ふみえ  
山内 富美枝



森田さんと同じ昭和57年にヘルパーになりました。仕事を探していた時に会った事が始まりでしたが、始めてみて「私の仕事はこれだ！」と感じて以来42年が過ぎました。利用者さんの人生や生活環境の中に入ることで、時代を知り、その流れの中で自分自身も一緒に成長させていただきました。

授業番号⑧（選択した人のみ出席可能です）

# の～びのび 介護技術講座

【受講者の皆さんへ】

「かいごの学校」にご参加されている皆さま、こんにちは。本日2回目の登場となります舟田です。どうかよろしく申し上げます。本日、私が受け持つ2つ目の講座。それは、「明日からやってみたくなる『介護技術』」です。

この研修では、介護の現場で日々直面する「私たちの手の力と使い方」と「尊厳を守る介護技術」に焦点を当てます。初心者からベテランまで、目から鱗の介護技術、明日から使いたくなる“KAiGO New Method(介護の新しい方法)」、をお土産に持って帰ってもらえればと思います。

- ・ 20歳で発症した坐骨神経痛からの復活、学び続けた34年分の介護を余すことなく共有します。
- ・ 指の使い方で介護は進化し深化する！
- ・ 意欲を引き出す掌の使い方、おむつ漏れを防ぐ指の使い方等々をゲットしましょう！
- ・ 座り直しだって踊るように軽やかに！介護が楽なら相手も楽ちん！
- ・ 食後の臥床姿勢は右？左？仰向け？エビデンスを一緒に考えてみましょう。
- ・ 参加者である皆さんの普段の介護を紐解き、共に考察し進化を導きます。
- ・ 今日よりちょっと良い介護…できるようになりたいくないですか？どんどんいきます！

介護過程の展開は、介護計画の中にあるものではなく、日々の介護実践に溶け込んだものです。よくする介護の実践は、利用者の自立支援だけでなく、その人の尊厳を守り、生活の質を高めるwell-beingもつながります。思わず明日からやりたくなっちゃう“KAiGO New Method(介護の新しい方法)」、をゲットしましょう。そして、一緒に介護福祉実践のデフォルトである介護技術を高め合いましょう！

## 講師プロフィール

舟田 伸司（ふなだ しんじ）

1970年生まれ、富山県黒部市出身。1990年黒部市介護老人保健施設カリエール開設と同時に入職。介護係長として勤務しながら県内外各所で介護講習、講演等も行っている。「介護の現場は宝の山。自己満足では終わらせずに介護の楽しさを伝えたい」という34年間抱き続けた介護への熱い思いと「思考する」介護を信条に活動中。日本介護福祉士会常任理事・富山県介護福祉士会会長。介護福祉士、介護支援専門員、介護技術講習主任指導者、保育士、幼稚園教員2級など当該領域の資格多数。好きな車は「Peugeot」、苦手な人は、「ちゃべ過ぎる人」です。



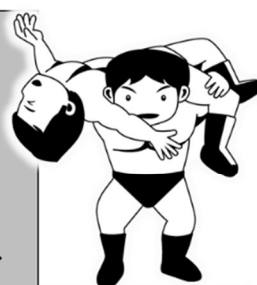
# 授業番号⑨ (全員出席可能です)



介護  
福祉



プロ  
レス



~プランニングでつながる介護福祉とプロレスの意外な共通点~

## 【受講者の皆さんへ】

みなさん、いよいよ、ファイナル講義です。実行委員メンバー全員で考えた授業です。気合を入れてまいりましょう！「介護福祉」と「プロレス」は、一見すると全く異なる世界に属しているように見えます。が、意外な共通点も多くみられます。

『個別性』プロレスでは各レスラーの魅力や、特性を踏まえて試合の中で物語が展開されます。介護福祉においても利用される方の性格、心身の状況などに応じたかかわりが重要になります。

『見られる（魅せる）』プロレスでは一つの試合の中に、様々な技術の応酬や、気持ちのぶつかり合いがあり、そしてそこから、観ている全ての人に伝える熱量があります。

介護福祉においてもその方が出来ないとききかかっていたことを、気持ちや技術の応酬の中、関りを深めることで本人にもできる事を魅せ（実感させる）、活力や熱量を生む場面が沢山あります。これらのかかわりは日常的に行われていますが、皆さんは客観的に自分のかかわりを見たくありませんか？「あたりまえ」のかかわりを深く、楽しく、ちょっと笑いも含ませながら実況中継を行います。

さあ！試合はもう始まっています。当日までの物語が目の前に、どんな物語かは皆さんの目で見てください！

試合開始のゴングはなっています！ 乞うご期待！！

## 出演者プロフィール

さわべ ひろたか  
澤邊 浩隆



介護福祉士養成校卒業後、「学ばない」「考えない」で介護職員を15年。その後、訳あり覚醒！現在は事業所の管理者。介護福祉の講師としても活躍中。

そして、なんと！

【介護プロレス】の名付け親

みずもと てるひこ  
水本 光彦



技能実習の評価、講師、特養の介護職員。「その人の当たり前を当たり前にする」をモットーに頑張らない日々を過ごす。介護福祉士。介護支援専門員。そして、実は

かいこの学校実行委員長

しのざき ともえ  
篠崎 智江



一般企業の勤務経験後、介護福祉士を取得し、世界へ。今の仕事は介護福祉現場が大好きな居宅介護支援専門員。福井県介護福祉士会会長。

ご近所からの評判は 清纯派介護福祉士

まつなが まさたか  
松永 将孝



〈介護屋〉一筋 23 年。

優しくなくちゃ  
介護できない  
なんてクソくらえ!!

滋賀県で地域密着型  
デイと居宅を経営。

たかしま さとし  
高島 聡



少し強引に誘われると嫌そうな顔とは裏腹に、内心は凄く喜んでいる

面倒臭いタイプ

滋賀県で小多機を2カ所で経営。

この授業のあとは、いよいよ後夜祭です！ 後夜祭への申し込みもぜひ！！

# 「かいこの学校」申し込み用紙 (FAX用)

「かいこの学校」への参加申し込みは、この申込書に必要事項を記入して、FAXでお申し込みください。もしくは、Webからもお申し込みができます。Webからお申し込みをされる方は、この用紙は不要です。申し込みの締め切りは6月30日(日)です。

7月12日までに参加授業科目の決定等をご希望の連絡方法でお知らせします。

## 授業・お弁当・後夜祭への参加希望をお答えください

1 時間目	【どちらかに○をつけてね】⇒ 1.出席する 2.出席しない
2 時間目	【希望する授業番号を記入】⇒第1希望： 第2希望：
【お弁当】	【どちらかに○をつけてね】⇒ 1.申し込む 2.申し込まない
3 時間目	【どちらかに○をつけてね】⇒ 1.出席する 2.出席しない
4 時間目	【希望する授業番号を記入】⇒第1希望： 第2希望：
5 時間目	【どちらかに○をつけてね】⇒ 1.出席する 2.出席しない
後夜祭	【どちらかに○をつけてね】⇒ 1.出席する 2.出席しない

フリガナ		
お名前		
お勤め先に☑を入れてください。お勤め先が複数ある場合は、主の職場を1つ☑してください。	<input type="checkbox"/> 訪問介護・訪問入浴 <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 老人保健施設 <input type="checkbox"/> 小規模多機能居宅介護 <input type="checkbox"/> 有料老人ホーム <input type="checkbox"/> デイサービス	<input type="checkbox"/> デイケア <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他( )
ご住所	〒 -	
電話番号	- -	
メールアドレス	@	
希望の連絡方法	①電話 ②メール ③Fax (番号 )	
○で囲んでください	介護福祉士会 会員 非会員	

**注意**

お弁当は 500 円、  
後夜祭への参加は  
4,000 円を会場にて  
お支払いください。

〆切  
6月30日(日)

Webからのお申し込みをご希望の方はこちらのQRコードをカメラで読み取り、お申し込みください。



受講料2,000円のお支払いは、当日、会場の受付にてお支払いください。現金のみ対応となります。(領収書発行可)

FAX番号 **0776-63-5869**